

香港への農林水産物・食品の輸出
に関するカンントリーレポート
(野菜・果物)

2025年12月

香港輸出支援プラットフォーム

目次

1. 野菜の基本情報とその背景
2. 野菜の近年の動向
3. 品目別の輸入状況と近年の動向(いも類)
4. 果物の基本情報とその背景
5. 果物の近年の動向
6. 品目別の輸入状況と近年の動向(りんご)
7. 品目別の輸入状況と近年の動向(梨)
8. 流通経路
9. 野菜・果物の輸入規制、輸入手続き
10. 参照

◆1. 野菜の基本情報とその背景◆

香港政府・食物環境衛生署¹が第1回（2005-07年）、第2回（2018-20年）と2回にわたって実施した20歳から84歳を対象とした調査「全港性食物消費量調査（第二回香港食物消費量調査）²」によると、第一回目の調査の際には一人あたり一日176.96g摂取されていた野菜は、第二回目の調査では202.65gと、その摂取量は14.5%増加している。ただし、日本人の20歳以上の一日あたりの野菜摂取量の平均は約258.7g（出所：厚生労働省「令和6年国民健康・栄養調査」³）なので、それと比較すると、香港人の野菜の摂取量は少ないことが分かる。

元来、香港には中医学の考えが根付いており、冬の時期に大根やブロッコリーを食べ、夏の湿気の多い時期に冬瓜を食べるなど、季節等に応じた野菜を食べる習慣があるため、季節ごとの野菜が供給されており、現在も以下図1のように野菜の種類が豊富である。しかしながら近年では、海外から野菜が輸入され、季節とは関わりなく通年に渡って市場で供給される野菜も少なくない。

図1：香港における野菜の種類



<出所：Vegetable Marketing Organization HP>

香港の政府機関・VMO（Vegetable Marketing Organization）⁴によると、香港では、280の香港内の農場と広東省及び寧夏回族自治区内の農場で平均して1日あたり40トンの野菜が生産されている。近年は葉物野菜を中心とした水耕栽培での生産も盛んである。しかしながら、香港で生産される野菜の量は、香港で消費される野菜のわずか1.8%であり⁵、市場で流通しているほとんどの野菜は海外からの輸入に依存している。

1URL : <https://www.fehd.gov.hk/english/>

2URL : https://www.cfs.gov.hk/tc_chi/programme/programme_firm/files/2nd_FCS_Report_29_Jun_2021.pdf

3URL : <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001603146.pdf>

4URL : <https://vmo.org>

5URL : https://www.afcd.gov.hk/tc_chi/agriculture/agr_hk/agr_hk.html

近年の生鮮野菜（加工野菜・冷凍野菜は除く）全体の輸入状況を見てみると、コロナ禍需要で2020年、2021年の輸入量・額ともに増加したものの、2022年以降は減少傾向にある。2024年は、金額ベースでは前年比1.3%減の74億8,277万香港ドルだが、数量ベースでは同2.4%増の897,187トンであった（表1参照）。

主要輸入相手国の動向をみると、2024年の場合、中国本土が金額ベースでは全体の87.2%を占め、数量では同95.0%と大きなシェアを占めている。

表1：香港における生鮮野菜の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中国	855,589	4,673,197	870,028	4,651,254	922,176	5,997,271	909,168	6,176,681	748,456	6,054,047	823,054	6,472,400	852,114	6,522,936	3.5%	0.8%	95.0%	87.2%
日本	6,687	226,868	8,654	267,390	11,388	355,206	10,414	307,192	9,506	283,703	7,984	224,603	6,614	198,056	-11.6%	-11.8%	0.7%	2.6%
米国	38,303	446,407	22,666	303,431	17,679	266,149	14,927	236,703	12,618	227,340	8,876	181,482	6,929	145,815	-21.9%	-19.7%	0.8%	1.9%
オランダ	3,187	110,437	3,625	127,908	5,367	178,785	6,944	205,528	6,496	185,151	3,661	143,141	2,611	113,728	-28.7%	-20.5%	0.3%	1.5%
オーストラリア	11,945	179,163	12,160	178,883	11,854	187,729	10,193	181,109	9,006	157,403	6,912	128,106	5,376	108,341	-22.2%	-15.4%	0.6%	1.4%
タイ	5,971	112,772	6,351	118,960	6,869	135,612	6,050	114,839	6,111	122,073	5,587	111,868	4,616	92,749	-17.4%	-17.1%	0.5%	1.2%
イタリ	725	31,197	917	35,434	1,753	42,940	960	35,581	878	30,149	810	34,643	905	41,447	11.8%	19.6%	0.1%	0.6%
台湾	8,147	41,877	8,008	49,182	8,041	52,501	8,099	58,535	8,435	65,179	5,119	45,246	4,386	33,989	-14.3%	-24.9%	0.5%	0.5%
韓国	1,918	32,553	2,091	32,115	2,638	47,280	2,633	62,157	2,696	61,863	1,948	44,603	1,446	32,672	-25.8%	-26.7%	0.2%	0.4%
フランス	767	39,165	674	35,806	603	31,282	443	25,004	434	21,963	396	26,504	336	31,734	-15.2%	19.7%	0.0%	0.4%
全体	948,647	6,130,347	953,106	6,052,722	1,019,880	7,661,159	1,015,802	7,899,069	819,806	7,413,649	876,086	7,583,623	897,187	7,482,771	2.4%	-1.3%	100.0%	100.0%

HS 07 EDIBLE VEGETABLES AND CERTAIN ROOTS AND TUBERS)

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」(2025年5月現在)

日本からは、かんしょ（さつまいも）やトマト、たまねぎ、かぼちゃ、だいこん、キャベツ、白菜などが輸出されていて、それらは他国産と差別化できる食味や品質の良さがあるという、一定の評価を香港で得ている。なかでもかんしょは、2025年11月に農林水産省から発表された「2024年農林水産物・食品の輸出実績（品目別）¹¹⁾」によると、香港向け輸出額のシェアが、世界全体の輸出額の29.5%（10.6億円）を占めている。

なお、香港の日本料理店の中には、刺身のつまや煮物に日本産だいこんを使用したり、とんかつに添えるキャベツの千切りとして日本産キャベツを使用したりする場合もある。卸売業者や日本料理店からのヒヤリングによると、①日本産野菜と中国産野菜の価格差、②中国産野菜の品質の向上、③中国産カット野菜の活用による人件費の削減や省力化の実現、といった点を考慮して中国産野菜を選択する場合がある。

一方、日本産野菜は、古くは日系あるいは旧日系スーパーマーケットなど一部の小売店でしか手に入らなかったが、近年では、地場系スーパーマーケットのAS Watson Group¹²⁾やDFI Retail Group¹³⁾傘下の売り場の中の日本産野菜コーナー、地元の食材専門店やミニスーパーの一部、あるいはインターネット販売でも入手できるようになるなど、その販売網は広がっている。

12URL：https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-271.pdf

13URL：<https://www.aswatson.co>

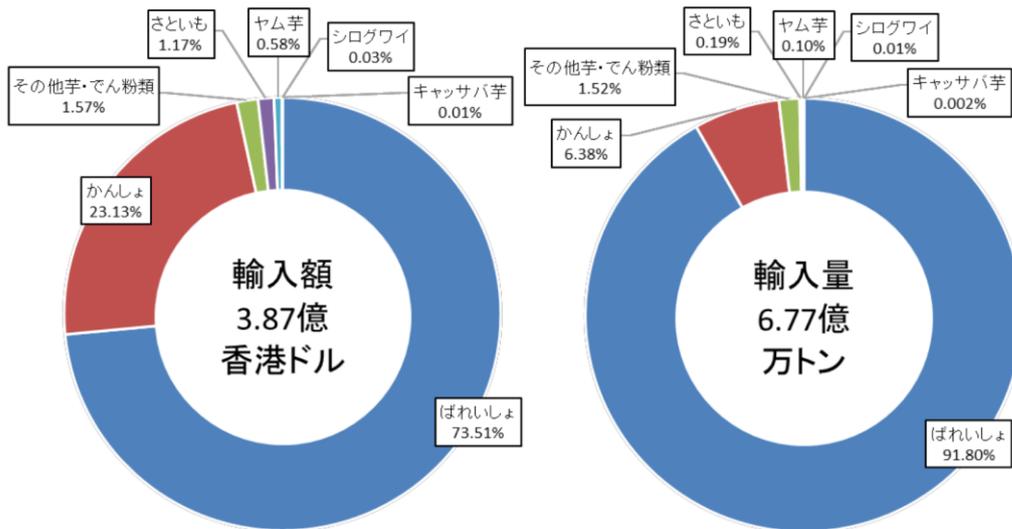
14URL：<https://www.dfiretailgroup.com/zh-HK>

◆3. 品目別の輸入状況と近年の動向(いも類)◆

輸入状況と近年の動向

香港では、食用の塊根としてかんしょをはじめ、ばれいしょ（じゃがいも）、ながいも、たろいもなどが輸入されている。その中で最も多いのがばれいしょで、中国から輸入が増加した。2022年以降はばれいしょの輸入量が最も多く、2024年には全体で2億8,455万香港ドル、62,160トン輸入されている。これは、かんしょ全体の輸入額（2024年）8,954万香港ドル、4,322トンと比較してその差は大きい。

表2：香港におけるいも類の輸入内訳（2024年）



HS 07019000 - POTATOES, EXCEPT SEED, FRESH OR CHILLED
 HS 0714 - MANIOC, ARROWROOT, SALEP, JERUSALEM ARTICHOKES, SWEET POTATOES AND SIMILAR
 ROOTS AND TUBERS WITH HIGH STARCH OR INULIN CONTENT, FRESH, CHILLED, FROZEN OR DRIED,
 WHETHER OR NOT SLICED OR IN THE FORM OF PELLETS; SAGO PITH

出所：香港統計局「Hong Kong
 External Merchandise Trade」
 (2025年10月現在)

表 3：香港におけるばれいしょの輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	10,085	39,437	12,097	48,077	62,167	250,856	57,203	226,202	54,593	231,431	-4.6%	2.3%	87.8%	81.3%
オーストラリア	2,857	22,712	2,104	23,343	2,204	24,129	1,366	19,482	1,141	17,687	-16.4%	-9.2%	1.8%	6.2%
米国	2,912	18,412	2,503	16,565	2,804	21,734	2,129	17,531	1,461	9,880	-31.4%	-43.6%	2.3%	3.5%
ドイツ	1,522	5,199	2,285	8,348	1,708	6,732	2,229	9,533	2,103	9,440	-5.7%	-1.0%	3.4%	3.3%
インド	919	2,745	1,137	3,507	1,284	4,213	2,435	7,505	2,135	6,349	-12.3%	-15.4%	3.4%	2.2%
イギリス	220	3,531	263	3,789	242	3,545	136	2,981	294	4,960	115.7%	66.4%	0.5%	1.7%
日本	359	6,235	349	4,087	145	3,518	392	3,599	294	2,618	-25.0%	-27.3%	0.5%	0.9%
オランダ	270	2,610	294	2,827	214	1,858	548	4,861	104	1,143	-81.0%	-76.5%	0.2%	0.4%
フランス	9.0	474	8.6	157	13	390	14	621	12	542	-20.0%	-12.7%	0.02%	0.2%
ネパール	0	0	0	0	0	0	0	0	11	237	N/A	N/A	0.02%	0.1%
全体	21,134	110,059	22,557	116,733	71,069	318,301	66,569	293,165	62,160	284,553	-6.6%	-2.9%	100.0%	100.0%

07019000 - POTATOES, EXCEPT SEED, FRESH OR CHILLED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」
(2025年5月現在)

かんしょは、従来、ベトナムやインドネシアからの輸入が多かった。日本産かんしょは、糖度が高く食味が良いだけでなく、日本では規格外とされる小ぶりなかんしょであっても、そのサイズが却って調理しやすい当地のニーズと合ったため、2000年代後半以降、香港市場で受け入れられ、広く流通するようになった。鹿児島産や宮崎産、熊本産をはじめとした九州産のみならず、ホクホクした食感が特徴のなると金時や五郎島金時、あっさりとした甘味が特徴である紫いもなど、さまざまな種類の日本産かんしょが流通している。

香港におけるかんしょの輸入額は、2024年は前年比 4.6%減の 8,954 万香港ドル、数量ベースでは同 6.6%増の 4,322 トンであった。主要輸入相手国 1 位は日本で、2024年は前年比 9.7%減の 5,911 万香港ドルでシェアは 66.0%であった。2 位は中国で 2024 年は前年比 283.5%増の 1,010 万香港ドル、3 位はインドネシアで同 25.3%減の 640 万香港ドルであった。なお、2024 年は品種が増加し改良もなされている中国産かんしょが輸入量・額ともに増加している。

たとえば、中国産かんしょの中でもブランド化されている「卵黄さつまいも（中国語では雞蛋黃蕃薯）」は、自然な赤紫色の皮とオレンジがかった黄色の果肉が特徴で、繊細な食感、ふわふわとした柔らかな口当たり、そして口の中でとろけるような食感がある。雲南省、山東省、河北省で栽培されている「ドリアンさつまいも（中文は榴蓮蜜薯）」はドリアンのように柔らかく甘く、ジューシーな食感である。また、香港で親しまれている甘さが控えめな紫芋も中国本土で生産され、香港で販売されている。

表4：香港におけるかんしょの輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
日本	3,088	89,241	2,576	82,288	2,573	75,397	2,277	65,448	1,904	59,110	-16.4%	-9.7%	44.1%	66.0%
中国	42	407	92	1,178	43	818	73	2,636	1,079	10,109	1373.2%	283.5%	25.0%	11.3%
インドネシア	1,124	9,952	1,331	15,106	1,188	13,972	948	8,571	760	6,401	-19.9%	-25.3%	17.6%	7.1%
韓国	253	6,456	283	10,839	370	11,392	262	6,749	237	5,887	-9.7%	-12.8%	5.5%	6.6%
台湾	113	2,911	177	4,289	166	3,945	131	5,405	118	4,502	-10.0%	-16.7%	2.7%	5.0%
オーストラリア	60	1,534	41	1,248	34	995	38	1,647	49	1,513	31.0%	-8.1%	1.1%	1.7%
ベトナム	2,583	15,528	3,540	23,268	2,638	19,419	264	2,058	116	948	-56.3%	-53.9%	2.7%	1.1%
米国	24	558	40	792	2.6	115	14	366	6.6	400	-52.2%	9.3%	0.2%	0.4%
マレーシア	24	345	0	0	53	1,062	46	919	30	353	-35.5%	-61.6%	0.7%	0.4%
エジプト	0	0	0	0	0	0	0	0	22	223	N/A	N/A	0.5%	0.2%
全体	7,348	127,534	8,099	139,674	7,084	127,536	4,055	93,822	4,322	89,543	6.6%	-4.6%	100.0%	100.0%

07142000 - SWEET POTATOES, FRESH, CHILLED, FROZEN OR DRIED, WHETHER OR NOT SLICED OR IN THE FORM OF PELLETS

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」(2025年5月現在)

香港市民の間では、かんしょをそのまま食べる以外にも、調理や製菓にも使用されている。たとえば、ベーカリーで小豆あんの代替として扱われたり、洋菓子店でモンブランやタルト、月餅の餡などに扱われる場合がある。一方、家庭では朝食やおやつ代わりに蒸かしいもとして扱われるほか、スープや煮物として調理される場合もある。日本産かんしょは、過去には調理時間のかからない小ぶりのサイズが受け入れられ定着していた。しかし、近年は中国産の小ぶりのサイズのかんしょが12香港ドル/600g(約240円)で、同紫いもが25香港ドル/600g(約500円)で地場系スーパーマーケットなどにて流通し始めている。

<小売店でのかんしょの小売価格>

品名・商品名	販売単位	販売価格 (税別)	原産国・産地	販売店の種類	販売店のグループ
煮芋	2個	46.20	日本	日系	ローワミドル
なると金時	1個	29.00	日本	現地系	スーパー
べにはるか	1パック	39.00	日本	現地系	ローワミドル
ふるふる かつまいも 10本以上	1個	68.00	日本	日系	ローワミドル
ふるふる 芋芋 3~4本	1個	29.90	日本	日系	ローワミドル
ふるふる 糖芋金時 2~3本	1個	19.90	日本	日系	ローワミドル
ふるふる 紅はるか 2~3本	1個	19.90	日本	日系	ローワミドル
ふるふる 五郎島金時 2~3本	1個	35.00	日本(石川縣)	日系	ローワミドル
ふるふる 鳴門金時 3~4本	1個	33.90	日本(徳島県)	日系	ローワミドル
ふるふる 紫いも 3~4本	1個	29.90	日本	日系	ローワミドル
糖芋金時	3個	29.90	日本	現地系	アッパーミドル
紫いも	3個	28.00	台湾	現地系	アッパーミドル
かつまいも	1個	28.00	韓国	現地系	アッパーミドル

出所：ドン・ドン・ドンキ (2025年3月現在)

<DonDonDonki¹⁴で販売される日本産かんしょ>



15URL : <https://www.dondondonki.com/hk/>

◆4. 果物の基本情報とその背景◆

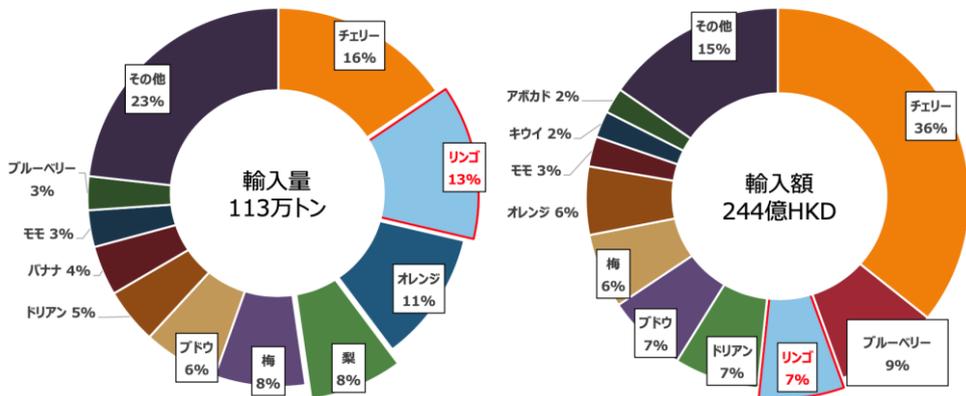
香港は、輸入規制が他国に比べて少なく関税も無税であるため、食品の輸入が容易である。果物もその例外ではない。従来からアジアの貿易港として発展してきた香港では、果物は香港で消費されるだけでなく、中継地点として輸入されてきた。また、香港に流通している果物のほとんどは海外からの輸入品である。

今から約四半世紀前の 1990 年代後半は、主にオレンジ、ぶどう、りんご、ドリアン、バナナ、マンゴーなどが輸入されていたが、近年はこれらに加えチェリーが増加した。2024 年には、重量ベースではチェリー（16%）、りんご（13%）、オレンジ（11%）、梨（8%）および梅（8%）が主に輸入されている。

ドリアンについては、主にタイやマレーシアから今なお継続的に輸入されている。「猫山王（ムサンキング）」のようなタイ産ドリアンの中の最高級品種も流通している。ところが、2023 年、2024 年はエルニーニョ現象による干ばつの影響でドリアンの生産量が減少したため、タイから香港へのドリアンの輸入量に関しては、2020 年に 246,948 トン（全体では 260,172 トン）輸入していたものの、2023 年は 94,731 トン（全体では 103,106 トン）、2024 年には 46,814 トン（全体では 53,412 トン）と減少している。

また、近年は、健康志向の高まりから、ビタミンやミネラルなどの栄養価が高いアボガドの輸入が増加しているのが特徴である。これらは主にペルー（2024 年：11,275 トン シェア：全体の 44.8%）やオーストラリア（2024 年：7,165 トン シェア：全体の 28.5%）、チリ（2024 年：3,352 トン シェア：全体の 13.3%）から輸入されている。2020 年に全体の輸入量で 14,749 トン輸入されていたのが、2023 年には 26,542 トンに増加し、2024 年は前年比 5.2%減少したものの、全体の輸入量は 25,155 トンであった。

表 5：香港における品目別別果物輸入状況



18 - EDIBLE FRUIT AND NUTS; PEEL OF CITRUS FRUIT OR MELONS
ナッツ (08012100~08029900) を除く

出所：香港統計局
"Hong Kong External Merchandise Trade"
(2025年7月現在)

しかしながら、こうした各国からの果物だけではなく、りんご梨など、品目によっては後述するように日本産果物のシェアも高い。

香港において果物は、食後のデザートとしての家庭消費以外にも、中華料理の食材として、また、中秋節や春節等の贈答品として扱われる側面がある。例えば、梨、りんご、パイナップルおよびココナッツは、デザートとしてだけでなく、中華料理ではスープの材料に用いられており、パイナップルやライチは、酢豚の具として活用されているほか、マンゴーやドリアンは、プリンやケーキなどのスイーツの材料として扱われている。

四半世紀前と比較すると生活水準が向上した香港では、果物の消費量は増加している。また、物流、保管方法の向上、リレー販売により、年間を通じて多品種の果物が豊富に流通している。

ただし、近年に関しては香港政府・食物環境衛生署が第1回（2005-07年）、第2回（2018-20年）と2回にわたって実施した調査「全港性食物消費量調査（第二回香港食物消費量調査）」によると、第一回目の調査の際には一人あたり一日146.81g摂取されていた果物が、第二回目の調査では120.31gと、その摂取量は18.1%減少している。

しかしながら、日本人の20歳以上の一日あたりの果物摂取量の平均値である約78.1g（出所：厚生労働省「令和6年 国民健康・栄養調査」¹⁵⁾）であり、果物の摂取量は香港の方が高いことが分かる。

◆5. 果物の近年の動向◆

輸入状況を国別に見てみると、ぶどう、桃、チェリーなどが主な生産物であるチリの構成比が金額ベースで43.4%、金額ベースで28.1%と最も多く、次いでぶどうやクランベリーが主な生産物であるペルー（金額ベース構成比：9.4%/数量ベース構成比：5.4%）、りんごや梨をはじめ果物の供給が年中可能な中国（金額ベース構成比：8.9%/数量ベース構成比：23.7%）、ココナッツ、ドリアン等が主な生産物であるタイ（金額ベース構成比：7.4%/数量ベース構成比：6.1%）が主な輸入相手国である。

また、近年の果物の輸入状況を見てみると、コロナ禍以降の2022年より輸入量・額ともに前年を下回って推移し続けている。しかしながら、2024年は数量ベースでは前年比2.0%減の1,129,937トンであったものの、金額ベースでは同14.4%増の245億6,940万ドルと増加に転じた（表6参照）。

16URL : <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001603146.pdf>

表 6：香港における国別果物輸入額

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額												
チリ	331,849	8,220,964	434,174	10,820,451	362,970	9,743,969	459,096	14,454,851	357,114	12,246,710	225,988	6,020,079	317,247	10,656,070	40.4%	77.0%	28.1%	43.4%
ペルー	43,821	721,429	59,447	995,774	59,339	1,119,875	82,581	1,920,852	70,531	1,779,802	50,196	1,258,234	61,027	2,319,962	21.6%	84.4%	5.4%	6.4%
中国	249,318	1,975,439	198,669	1,186,735	220,130	1,364,391	239,937	1,689,287	219,579	1,695,975	244,736	2,032,100	267,586	2,179,932	9.3%	7.3%	23.7%	8.9%
タイ	350,957	3,574,746	406,025	4,516,461	444,022	6,363,318	432,182	7,141,858	213,154	4,708,433	120,892	3,240,698	69,346	1,808,440	-42.6%	-44.2%	6.1%	7.4%
オーストラリア	124,140	1,874,774	134,185	2,176,567	125,836	2,012,947	100,539	1,882,518	64,998	1,188,999	68,160	1,452,674	63,113	1,280,308	-7.4%	-11.9%	5.6%	5.2%
日本	14,971	787,639	14,076	781,672	13,484	855,328	17,488	1,118,835	22,374	1,419,857	24,758	1,321,258	20,437	1,156,365	-17.5%	-12.5%	1.8%	4.7%
米国	185,302	2,870,674	146,658	2,258,042	134,051	2,001,979	107,504	1,743,371	67,939	1,351,818	63,652	1,303,189	57,474	1,152,418	-9.7%	-11.6%	5.1%	4.7%
南アフリカ	179,580	1,544,843	162,111	1,481,040	146,170	1,314,404	140,475	1,243,233	138,818	1,276,637	139,817	1,348,846	96,889	968,600	-30.7%	-28.2%	8.6%	3.9%
ニュージーランド	28,815	499,823	44,641	727,325	34,666	600,086	36,841	696,940	23,489	490,368	29,153	557,122	44,421	908,084	52.4%	63.0%	3.9%	3.7%
フィジン	82,982	596,368	78,814	621,610	57,614	445,356	49,334	387,956	40,013	348,569	41,990	384,475	44,449	366,661	5.9%	-4.6%	3.9%	1.5%
全体	1,779,540	24,988,236	1,940,641	28,976,414	1,809,159	28,770,522	1,848,374	35,151,157	1,379,873	29,069,822	1,153,154	21,469,223	1,129,937	24,569,399	-2.0%	14.4%	100.0%	100.0%

HS 08 - Edible fruit and nuts; peel of citrus fruit or melons (0801-0802を除く)

出所：香港統計局 | Hong Kong External Merchandise Trade | (2025年5月現在)

香港に流通する果物の品目は、前述のようにチェリー、りんご、オレンジ、梨が多い。また、近年は消費者の健康志向の高まりを受け、ザクロ、アボガド、ココナッツ、ブルーベリーのよう栄養価の高い商材に人気がある。特に、ココナッツは果物としてだけでなく、ココナッツオイルやココナッツパウダーとしても流通している。また、ドリアンはその独特の食みや香りの強さが良い影響を及ぼし、主な生産地であるタイを中心に輸入量が増加している。マレーシア以外競合がないのも強みである。また、ドリアンケーキ、ドリアン月餅、ドリアンアイスクリームなど、ドリアンスイーツも香港では支持されている。



<写真：Asok Thai Cake¹⁶のドリアンケーキ (左) / SOGO HONG KONG で販売される冷凍ドリアンスイーツ (右) (筆者撮影) >

なお、日本産果物が全体に占める割合は、2024年の場合、金額ベースで4.7%、数量ベースで1.8%であった。

日本産果物には、糖度の高さや食味の良さ、といった他国産にはない魅力があり、香港でも一定の評価を受けている。「2024年農林水産物・食品の輸出実績(品目別)」によると、日本から香港へは主にりんご(36.4億円・香港向けシェア18.1%)、ぶどう(19.9億円・香港向けシェア33.5%)、いちご(38.6億円・香港向けシェア71.5%)、桃(21.1億円・香港向けシェア71.6%)、梨(7.2億円・香港向けシェア70.5%)、柑橘(6.8億円・

¹⁷URL : <https://www.asokthaicake.com>

香港向けシェア 45.5%)、柿 (3.8 億円・香港向けシェア 33.8%) が輸入されていて、台湾とともに香港は主要輸出地域にあたる。

日本産果物は、香港では高級品のイメージがあり、従来は主に贈答用として輸入されてきた。香港では、中秋節、クリスマス、春節のようなギフトシーズンに果物を贈ることが多く、果物の需要が高まるが、中秋節と春節は旧暦であるため、毎年時期が変動する（年によって最大で1ヶ月ほど前後することがある）点には留意が必要である。一般的に中秋節の9月～10月は、日本産果物が品薄になるとされる時期だが、生産者と輸入業者の工夫によってこの時期に合わせて赤肉メロンが販売された事例がある。



<写真：高級スーパーマーケット「City' Super」の中秋節ギフトセット(筆者撮影)>

なお、日本産果物の一部は高級ギフト果物として現在も扱われているが、近年は、いちごやみかんに代表されるように、自宅で消費するための需要も増加しており、価格訴求力も求められるようになってきている。なかでも、いちご、シャインマスカット、梨、メロン、梅など、日本で品種改良され、日本産が市場でも多く流通しているような果物については、韓国や中国をはじめ、南アフリカやオーストラリアといった競合国産の品質が向上しているため、市場での競争は激しい。そのため、小売店では、日本産果物の販売に当たって様々な工夫を施している。たとえば、Don Don Donki は、日本産果物の価値を糖度で明確にし、糖度の高さによって価格に差をつけている。写真はいちごの場合であるが、DonDonDonki では、りんご、みかんなど、他の果物に関しても同様の取り組みを行なっている。



<写真：日系スーパーマーケット「Don Don Donki」の果物売り場(筆者撮影)>

◆6. 品目別の輸入状況と近年の動向（りんご）◆

基本情報とその背景

りんごは果物の中でも栄養成分に優れており、香港では長年に渡り支持されている。香港では、食材に縁起を担ぐ場合があり、縁起の良い名前を持つ食べ物を好む傾向にある。「りんご」を広東語で発音すると、「平安」という言葉に発音が似ていることから、縁起が良いとして、贈答品として用いられる場合も多い。

日本産りんごは香港における日本産果物の中で最も数量が多く輸出され流通量も多く、スーパーマーケットや果物専門店のほか、香港内に74ヶ所ある街市（公設市場）でも販売されている。

特に、青森県産りんごについては、CA(Controlled Atmosphere)冷蔵あるいはスマートフレッシュ処理などの鮮度保持の技術を活用しており、年間を通して香港に輸出されている。

輸入状況と近年の動向

りんごは従来、主に米国から輸入されていたが、2024年は中国産りんごが主流であり、輸入量は77,885トンで、全体の52.3%を占めている（表7参照）。2024年のりんご全体の輸入状況をみると、金額は前年比2.0%減の17億4,828万ドル、数量ベースでは同4.0%増の148,822トンであった。主要輸入相手国の動向をみると上位4カ国の輸入額合計は全体の88.5%を占め、数量でも同87.3%と大きなシェアを占めている。

日本産りんごは、中国、ニュージーランドに次いで輸入額が第3位で、そのシェアは2024年の場合、金額ベースで11.2%、数量ベースで4.4%であった。近年、日本産りんごの輸入は金額・数量ともに増加傾向にあったが、2024年は金額ベースで前年比39.3%減の1億9,499万ドル、数量が同40.4%減の6,550トンであった（表8参照）。

表 7：香港におけるりんごの輸入状況(2001 年/2024 年)比較

2001年	輸入量 (トン)	輸入額 (千香港ドル)	2001年⇒2024年		2024年	輸入量 (トン)	輸入額 (千香港ドル)	2001年⇒2024年	
			輸入量	輸入額				輸入量	輸入額
米国	42,031	232,417	-69%	-28%	中国	77,885	660,063	389%	851%
ニュージーランド	13,931	92,397	131%	466%	ニュージーランド	32,233	522,684	131%	466%
中国	15,933	69,388	389%	851%	日本	6,550	194,986	2221%	2519%
チリ	10,240	55,373	-45%	7%	米国	13,191	167,529	-69%	-28%
南アフリカ	5,150	30,337	55%	147%	南アフリカ	7,992	75,024	55%	147%
フランス	2,623	16,782	-6%	62%	チリ	5,638	59,363	-45%	7%
オーストラリア	1,923	12,092	-69%	-6%	フランス	2,467	27,157	-6%	62%
日本	282	7,446	2221%	2519%	オーストラリア	601	11,388	-69%	-6%
その他	1,245	13,097	82%	130%	その他	2,265	30,090	82%	130%
合計	93,075	521,883	60%	235%	合計	148,822	1,748,284	60%	235%

05740 - APPLES, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」
(2025年5月現在)

四半世紀前にあたる 2001 年と現在のりんごに関わる大きな違いは、2001 年当時は米国産の光沢のあるりんごが主流であったが、現在は多品種のりんごが流通していることだ。また、食の安全性から皮ごと食べられるニュージーランド産ロキット・アップル¹⁷のように健康的な美味しさが注目されるようになった。

日本産りんごについては、贈答用の比較的大玉のものが主に流通していたが、近年は、通年輸出可能という強みを活かし、青森県産の「日常使い」向けのものが多く流通している。特に、王林のような青いりんごや名月のような黄色いりんごなど、他国産にはない特徴を持ったりんごに人気がある。日本産のりんごは、元々、他国産に比べ、甘さ、フレッシュな香りなどといった特徴があったが、日常使い向けのアイテムが広まったことで日本産に対するニーズが増え、果物卸売市場や公設市場での小売店、ローカルスーパーマーケットでも広く取り扱うようになったとされている。

¹⁸URL : <https://www.rockitapple.com/jp/>

表8：香港におけるりんごの輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	83,022	599,646	91,972	704,117	77,462	620,249	74,530	678,275	77,885	660,063	4.5%	-2.7%	52.3%	37.8%
ニュージーランド	26,688	361,242	28,344	450,042	15,891	257,140	23,662	385,686	32,233	522,684	36.2%	35.5%	21.7%	29.9%
日本	6,167	188,047	8,789	269,896	10,530	331,590	10,990	320,969	6,550	194,986	-40.4%	-39.3%	4.4%	11.2%
米国	20,411	206,606	16,332	203,207	13,274	188,332	10,571	148,349	13,191	167,529	24.8%	12.9%	8.9%	9.6%
南アフリカ	7,000	85,273	8,659	68,592	9,157	83,845	13,907	133,935	7,992	75,024	-42.5%	-44.0%	5.4%	4.3%
チリ	10,203	108,642	5,688	66,785	4,347	45,907	3,871	42,531	5,638	59,363	45.7%	39.6%	3.8%	3.4%
フランス	2,350	24,222	2,451	27,067	2,474	31,678	1,317	14,479	2,467	27,157	87.3%	87.6%	1.7%	1.6%
オーストラリア	575	10,793	537	9,104	346	7,998	675	12,155	601	11,388	-11.0%	-6.3%	0.4%	0.7%
イタリア	731	10,001	298	3,785	654	8,826	1,359	17,943	688	7,949	-49.4%	-55.7%	0.5%	0.5%
オランダ	25	371	39	576	63	897	679	8,437	431	5,325	-36.5%	-36.9%	0.3%	0.3%
全体	160,537	1,631,739	165,178	1,827,528	136,314	1,610,766	143,046	1,783,939	148,822	1,748,284	4.0%	-2.0%	100.0%	100.0%

08081000 - APPLES, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」
(2025年5月現在)

ジェトロが2024年11月～2025年2月にかけて現地市場価格調査をしたところ、富裕層向けのスーパーマーケットでは冬恋が2個で88香港ドル（約1,760円）でありギフトボックスとして480香港ドル（約9,600円）で販売されている。ニュージーランド産（ジャズアップル¹⁸）1袋6個入31.90香港ドル（約638円）、Envyアップル¹⁹が1袋4個入55香港ドル（約1,100円）、青森県産王林4個50-60香港ドル（約1,000-1,200円）、青森県産フジ2個20-88香港ドル（約400-1,760円）であった。

表9 香港の小売店におけるりんごの小売販売価格（2024/2025年）

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
ENVY りんご	4個入/パック	55.00	米国	現地系	該当なし
富士りんご	5個入/パック	20.00	日本	現地系	低所得者層
星蜜つつ りんご	4個入/パック	40.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
星蜜つつ りんご	4個入/パック	45.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
王林りんご	4個入/パック	50.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
りんご	6個入/箱	79.90	日本	日系	ローワミドル
王林	4個	59.00	日本	現地系	アッパーミドル
ファーマインド 光選のりんご サンつがる	2個入/パック	29.90	日本（青森県）	日系	ローワミドル
ファーマインド 光選のりんご トキ	2個入/パック	29.90	日本（青森県）	日系	ローワミドル
名月りんご	4個	60.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
王林りんご	4個入/パック	60.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
名月りんご	5個入/パック	78.00	日本	現地系	富裕層
富士りんご	5個入/パック	88.00	日本	現地系	富裕層
ジョナゴールド	4個	79.00	日本	現地系	アッパーミドル
富士りんご	2個入/パック	59.90	日本	現地系	富裕層
冬恋りんご	2個入/パック	88.00	日本（岩手県）	現地系	富裕層
福の字サンフジ	1個	48.00	日本（青森県）	現地系	富裕層

出所：ジェトロ香港調べ（2025年3月）

* 上記一個あたりの単価順

19URL：https://jazzapple.com/nz/
20URL：https://envyapple.com/hk/

◆7. 品目別の輸入状況と近年の動向（梨）◆

基本情報とその背景

梨は中医学的には喉を潤す効果があるとされており、香港では長年にわたって親しまれている果物である。また、前述のように果物はギフトとして贈られる習慣が香港にはあるが、「梨」の発音が、利益の「利」という発音と同じであることから、縁起が良いとして、自宅用のみならず贈答品にも用いられている。また、梨は果物として食されるだけでなく、スイーツや中華スープといった料理にも用いられている。

香港で輸入される日本産梨は、大半が和梨である。和梨の中でも、他国と差別化できる「二十世紀梨」のような「青梨」系の人気は根強いが、近年では「秋月」のような瑞々しさを特徴にもつ「赤梨」系の和梨も支持を拡大しており、山形産ラフランスや新潟産レクチェといった、日本産の洋梨も流通するようになってきた。香港で梨は通年に渡って流通しているが、日本産梨は秋から冬にかけての限られた時期にのみ流通する果物である。また、日本産梨は日系・旧日系スーパーマーケットのみならず、地場系スーパーマーケットや果物専門店、及び香港内に74ヶ所ある街市（公設市場）で販売されている。

輸入状況と近年の動向

四半世紀前にあたる2001年と2024年の香港市場における梨に関わる大きな違いは、中国産の梨に集中し、米国産、オーストラリア産、韓国産等が減少した点にある。また、日本産梨の輸入量は1,962トン（2001年）から1,040トン（2024年）と大幅に減少したが、金額は2,892万香港ドル（2001年）から5,074万香港ドル（2024年）へ大幅に増加している。

表10：香港における梨の輸入状況(2001年/2024年)比較

2001年	輸入量 (トン)	輸入額 (千香港ドル)	2001年⇒2024年		2024年	輸入量 (トン)	輸入額 (千香港ドル)	2001年⇒2024年	
			輸入量	輸入額				輸入量	輸入額
中国	29,057	111,512	181%	197%	中国	81,697	331,537	181%	197%
日本	1,962	28,920	-47%	75%	日本	1,040	50,743	-47%	75%
南アフリカ	2,408	12,488	19%	147%	南アフリカ	2,856	30,817	19%	147%
オーストラリア	1,660	11,037	-98%	-94%	チリ	1,286	16,788	194%	334%
米国	1,337	9,332	-98%	-97%	ベルギー	732	11,635	N/A	N/A
韓国	748	7,252	-70%	-25%	ニュージーランド	391	10,415	17519%	32447%
チリ	438	3,865	194%	334%	オランダ	551	7,173	N/A	N/A
アルゼンチン	50	302	608%	1211%	韓国	225	5,472	-70%	-25%
その他	55	347	893%	2020%	その他	548	7,356	893%	2020%
合計	37,665	184,753	137%	155%	合計	89,324	471,936	137%	155%

05792 - PEARS AND QUINCES, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」
(2025年5月現在)

近年の梨の輸入状況を見てみると、中国産梨のシェアが金額（全体の70.3%）数量（全体の91.5%）といずれも大きく、近年シェアを拡大している。これは、大湾区内の貿易円滑化が鮮度維持とコスト削減を実現し、中国産梨が安定供給されるようになったことによるもので、2024年は、全体の輸入額では前年比6.6%増の4億7,194万ドル、数量ベースでは同8.8%増の89,324トンであった（表7参照）。香港市場に出回る中国産梨の大半は、価格訴求力のある洋梨が主であるが、最近は「ちげつ梨」という日本語風のブランド名を冠した「秋月」系の和梨も、香港で流通するようになってきている。

表 11：香港における梨の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	65,530	223,990	71,031	246,883	68,856	246,174	71,006	272,072	81,697	331,537	15.1%	21.9%	91.5%	70.3%
日本	812	39,771	993	54,912	1,080	56,768	953	42,067	1,040	50,743	9.1%	20.6%	1.2%	10.8%
南アフリカ	2,294	18,754	2,221	19,071	2,887	24,677	4,458	43,359	2,856	30,817	-35.9%	-28.9%	3.2%	6.5%
チリ	2,508	35,528	2,049	27,339	776	9,958	2,246	26,764	1,286	16,788	-42.8%	-37.3%	1.4%	3.6%
ベルギー	2,084	22,115	1,123	13,722	1,237	18,649	906	13,932	732	11,635	-19.2%	-16.5%	0.8%	2.5%
ニュージーランド	199	4,688	232	3,977	61	1,520	418	11,328	391	10,415	-6.6%	-8.1%	0.4%	2.2%
オランダ	2,133	23,379	1,758	21,595	1,058	13,144	681	8,475	551	7,173	-19.1%	-15.4%	0.6%	1.5%
韓国	581	12,258	579	15,453	657	15,702	659	14,302	225	5,472	-65.9%	-61.7%	0.3%	1.2%
アルゼンチン	899	8,051	974	8,955	335	4,126	640	7,477	357	3,958	-44.2%	-47.1%	0.4%	0.8%
台湾	36	565	8.0	159	41	830	11	573	49	794	323.7%	38.6%	0.1%	0.2%
全体	78,403	401,187	82,377	424,159	77,669	398,730	82,102	442,836	89,324	471,935	8.8%	6.6%	100.0%	100.0%

08083000 - PEARS, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」
(2025年5月現在)

一方、日本からの輸入状況は、集中豪雨等の影響を受けて一部地域で生産量に影響が出た点や物流コストの影響を受け、2023年は金額・数量ともに下落したものの、2024年は金額ベースでは前年比20.6%増の5,074万ドル、数量ベースでは同9.1%増の1,040トンに回復した。このことから、天候に恵まれ安定的に梨の供給が可能であれば、日本産梨のニーズがあることが伺える。

中国産の洋梨や南アフリカ産洋梨はスーパーマーケットのプラットフォームで販売されることが多く、日本産和梨は近年、バルクで輸入され輸入業者兼卸売業者がリパックした2個入のパッケージ或いは日本と同様のギフトボックスで販売されるのが主流である。最近では香港でも、日本と同様にレジ袋が有料化されてきており、他の果物では持ち運びがしやすい包装が採用されているが（例えば、いちごの場合は、2パックを横に並べた形で箱詰めされるなど、重ねて運びやすい形態で販売されており、りんごやみかんの場合は、持ち運びしやすい袋包装で販売されていたりする）、梨についても、他の日本産果物のギフトボックス同様、梨のギフトボックスを持ち運びしやすいものに変えられたら、というスーパーマーケットのバイヤーからの声もある。

ジェトロが2024年11月～2025年2月にかけて現地市場価格調査をしたところ、富裕層向けのスーパーマーケットでは二十世紀梨が1パック（2個入り）あたり98-118香港ド

ル（約 1,960-2,360 円）、アッパーミドル向けスーパーマーケットでは、幸水梨が 1 パック（2 個入り）あたり 55 香港ドル（約 1,100 円）であった。一方、街市で販売された中国産洋梨は 1 山 5 個入りで 10 香港ドル（約 200 円）であり、また、韓国産梨が 1 パック（2 個入り）あたり 29 香港ドル（約 580 円）、中国産秋月種梨が 4 個入り 45 香港ドルで（約 900 円）流通している。

その一方で、ジェトロの紹介で香港の食品輸入商社を通じて香港 SOGO HONG KONG で 2023 年より毎年販売を行なっている新潟県の農業法人、株式会社想樹の秋月は、その大きさやみずみずしさと食味で差別化され、1 パック（2 個入り）あたり 128-168 香港ドル（約 2,560-3,360 円）で販売された。

表 12 香港の小売店における梨の小売販売価格（2024/2025 年）

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
梨	5個	10.00	中国	現地系	低所得者層
幸水梨	4個	85.00	日本	現地系	アッパーミドル
豊水梨	2個	49.00	日本	現地系	アッパーミドル
幸水梨	2個	55.00	日本	現地系	アッパーミドル
南水梨	2個	88.00	日本（青森県）	現地系	該当なし
二十世紀梨	2個	98.00	日本	現地系	富裕層
二十世紀梨	2個	118.00	日本（鳥取県）	現地系	富裕層
幸水梨	2個	128.00	日本	現地系	富裕層
豊里梨	1個	68.00	日本（大分県）	現地系	富裕層
二十世紀梨 ギフトボックス	6個	428.00	日本（鳥取県）	現地系	アッパーミドル
王秋梨	1個	78.00	日本（鳥取県）	現地系	富裕層
二十世紀梨 ギフトボックス	4個	339.00	日本（鳥取県）	現地系	アッパーミドル
新甘泉梨	4個	419.00	日本（鳥取県）	現地系	アッパーミドル

出所：ジェトロ香港調べ（2025 年 3 月）

*上記一個あたりの単価順

◆8. 流通経路◆

日本産野菜・果物は、主に航空便で香港へ輸出されており、最短で出荷から 2 日後には香港の消費者の手元に届くようになっているため、日本国内とほぼ変わらない鮮度で商品を食べることができる。一方で、りんごや大根のように保存が可能な野菜・果物の場合は、船便で冷蔵コンテナ輸送される場合がある。ただし、保存が可能な野菜・果物の場合でも、輸送コストと確実に納品できるタイミングを考慮して、近年は航空便でパレット輸送する輸入業兼卸売業者も少なくない。

香港で流通する野菜・果物は卸売市場を経由して流通するのが一般的であるが、日本産野菜・果物の多くは香港の卸売市場を経由せず、輸入業兼卸売業者を通じて小売店や飲食店などの消費者へ流通している。ただし、一部の果物に関しては、卸売市場の業者が日本の卸売市場の仲買業者から直接仕入れ自社の直営店で小売販売を行う、あるいは公設市場に卸売をする場合がある。また輸入業・卸売業者がインターネット販売を行う場合もある。

◆9. 野菜・果物の輸入規制、輸入手続き◆

(1) 輸入規制

①輸入禁止（停止）、制限品目（放射性物質規制等）

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県産の野菜・果物は輸入が禁止されている。また、2018年7月24日から茨城県、栃木県、群馬県および千葉県産の野菜・果物（HSコード第7類、第8類）については、条件付き（輸出事業者証明書および放射性物質検査証明書の添付）で輸入が可能である。輸出事業者証明書・放射性物質検査証明書の発給についての詳細は農林水産省のウェブサイト「香港向け輸出証明書等の概要について」を参照。

（香港による日本産食品の輸出に係る原発関連の規制について：農林水産省（maff.go.jp））

前述の5県以外で生産された日本産野菜・果物は、輸出事業者証明書および放射性物質検査証明書の添付なしで輸入が可能である。また、野菜や果物の加工品（桃ジュースなど）については、上記輸入規制の対象外となっている。

一部の卸売業者や小売店では、上記都道府県の果物を継続的に仕入れているが、卸売業者やスーパーマーケット担当バイヤーの中には、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県の野菜・果物購買に対して消極的な姿勢を見せる者もいる。放射性物質に対する懸念以上に、出荷の度に行う放射性物質検査の手間と費用負担がかかる、というのが主な原因である。

②施設登録、輸出事業者登録、輸出に必要な書類等（輸出者側で必要な手続き）

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、4県（茨城県、栃木県、群馬県、千葉県）産の野菜・果物の輸入時は、次の2つの証明書を提出する必要がある。

ア.日本および香港の表示、貿易等の関係法令に違反していないことを証明する輸出事業者証明書

イ.政府機関による、香港の放射性物質の基準に適合していることを証明する放射性物質検査証明

野菜・果物に関する輸出事業者証明書および放射性物質検査証明は、農政局への申請が必要となり、審査後に発行される。

③植物検疫の有無

日本から野菜・果物を輸出する場合、輸入検疫の対象にはなっていない。また、日本側で植物検疫証明書を取得する必要はない。

(2)食品規格、残留農薬および動物用医薬品

① 食品規格

野菜・果物に関する特別な食品規格はない。包装済み食品については、コーデックス委員会（CODEX）の食品規格にあるように食品の成分とその添加物について適切に表示しなければならない。

② 残留農薬および動物用医薬品

香港では使用される農薬について、ポジティブリスト制を採用している。「食品中の残留農薬規則」(Cap.132CM Pesticide Residues in Food Regulation) Schedule 1 に挙げられている、農薬と食品との組み合わせごとに定められている最大残留基準値あるいは外因性最大残留許容量に照らし、含有量が規定値を超えている場合、該当する食品の輸入・販売などは禁止されている。また、Schedule 2 には規制対象外の農薬が挙げられている。(Cap. 132CM Pesticide Residues in Food Regulation (elegislation.gov.hk)) (ジェトロ仮訳)

(3)重金属および汚染物質

① 重金属規制

2025年9月に施行された「2025年食品混入不純物(金属汚染物質含有量)(改正)規則」(Cap.132V Food Adulteration (Metallic Contamination) (Amendment) Regulations 2025)では、2018年改正版の食品分類数144分類から2025年版は171分類に増えた。また、分類数の増加に伴い、カドミウムではシイタケなど食用キノコ類(計6分類)の同基準値が、メチル水銀ではマグロ類など魚類(計6分類)の同基準値がそれぞれ事実上緩和された。(https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132V!en)

具体的な対象品目については以下を参照。

https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=40178526

また、規制対象である「特定金属」と「特定食品」の組み合わせおよび含有上限量については、「2025年食品混入不純物(金属汚染物質含有量)(改正)規則」の付表第2部(Part 2 Maximum Level of Metal in Food)にリスト化されている。

[https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fstr/files/Guidelines_Cap_132V%20\(E\)_upload.pdf](https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fstr/files/Guidelines_Cap_132V%20(E)_upload.pdf)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/09/aaae7fa1daeda15e.html>

複数の原料から構成される「複合食品」についても、「特定食品」が配合されている場合には規制対象となる。また、改正規則3(4)に規定されたとおり、「複合食品のすべての原料が特定食品に該当する場合には、「(当該)複合食品に含まれる特定金属の上限量は、各原料の特定金属の上限量に、この複合食品に含まれる各原料の割合、重量比を乗じた値の合算」となる。上記に加えて、「特定金属」ではない金属であっても、危険値である、または有害性が疑われるような量の金属を含有する食品は、いかなるものでもヒトの消費用に輸入・委託・配送・製造・販売することが禁止されている。野菜・果物に関連する「特定金属」の主な含有上限量については、関連リンクなどを参照。

(s220182223113 (gld.gov.hk)) (ジェトロ仮訳)

(Metal guidelines-eng.pdf (cfs.gov.hk)) (ジェトロ仮訳)

② 有害物質

有害物質に関しては、「食品有害物質規則」(Cap.132AF Harmful Substances in Food Regulations)(香港特別行政区基本法)のSchedule 1に挙げられている物質が規定量を超

える場合、また同 Schedule 2 に挙げられている物質が含まれる場合、該当する食品の輸入・販売などは禁止されている。

([Cap. 132AF Harmful Substances in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#)) (ジェトロ仮訳)

2021年7月14日に可決された「2021年食品有害物質(改正)規則(Harmful Substances in Food (Amendment) Regulation 2021)」により、一部成分の許容基準値が改正または新設となり、2023年6月1日から施行されている。野菜・果物に関連する有害物質のうち、改正または新設された品目については、以下表を参照のこと。

改正または新設となった食品有害物質の許容量リスト(2023年6月1日より有効)

特定有害物質	特定食品	含有上限量
アフラトキシンB1	乳タンパク質から製造された調整乳を除く、乳児用調製粉乳およびフォローアップミルク	0.1µg/kg
	生後36か月以下の乳幼児による摂取を前提とした、上記以外のすべての食品	0.1µg/kg
アフラトキシン総量 (アフラトキシンB1、B2、G1、G2の合計)	調理前のアーモンド、ブラジルナッツ、ヘーゼルナッツ、ピーナッツおよびピスタチオ	15µg/kg
	調理前のピーナッツ、アーモンド、ブラジルナッツ、ヘーゼルナッツおよびピスタチオから製造された食品	15µg/kg
	香辛料	15µg/kg
	その他の食品	10µg/kg
メラミン	生後12か月以下の乳幼児による摂取を前提とした乳児用調整液体乳および液体フォローアップミルク	0.15mg/kg
	上記以外の乳	1mg/kg
	生後36か月以下の乳幼児による摂取を前提としたその他の食品	1mg/kg
	妊婦および授乳中の女性による摂取を前提としたすべての食品	1mg/kg
	その他のすべての食品	2.5mg/kg

([s22021252386 \(legco.gov.hk\)](#)) (ジェトロ仮訳)

(4)食品添加物

香港には着色料・甘味料・食品保存料に関する規則がある。

([香港における食品添加物の規制状況\(2014年3月\) | 調査レポート・国・地域別に見る・ジェトロ\(jetro.go.jp\)](#))

野菜・果物については「食品着色料規則」(Cap.132H Colouring Matter in Food Regulations)にて着色料の使用は認められていない。ただし、かんきつ類の果実についてのみ明確に視認できる大ききで外皮に「colour added」と記載した上で着色料を使用することができる。また、天然色素については、同規則には掲載されていないが、一部は使用が認められている。関連リンクのその他参考情報の「許可された着色料：天然色素」を参照。

([Cap. 132H Colouring Matter in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#)) (ジェトロ仮訳)

([即食食品微生物含量指引 \(cfs.gov.hk\)](#))

甘味料に関しては「食品甘味料規則」(Cap.132U Sweeteners in Food Regulations)Scheduleに挙げられている甘味料を使用することが可能である。

([Cap. 132U Sweeteners in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#)) (ジェトロ仮訳)

食品保存料に関しては 2024 年 10 月に改正された「食物中の保存料規則（改正版）」（Cap.132BD Preservatives in Food Regulation）の Schedule 1, No.1 に挙げられている食品保存料を、規定量の範囲内で使用することができる。

(<https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132BD>)

https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fstr/whatsnew_fstr_Proposed_Amendments_Preservatives_Food_Regulation.html

(5)食品包装（食品容器の品質または基準）

食品容器の規制に関しては、2024 年 4 月 22 日（月）から使い捨てプラスチックの使用が段階的に禁止となった。環境保護の観点から、以下のように業務用の使い捨てプラスチック製食器類やストロー等、プラスチック製品の使用が禁止された。製品によって、販売禁止、無料提供禁止、製造禁止の違いがある。

参照：<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/04/c812cf11fa039bba.html>

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/10/7ff7dc9653c6f561.html>

<https://www.greentableware.hk/en-us/home/index>

また、食品容器資材の卸売業者からのヒアリングによると、小売用では野菜や果物用のトレーなどの発泡素材の容器が使用されない傾向にあり、代替品としてプラスチック素材や紙等の素材が容器として使用されている。現状、発泡素材の容器に関してルールが明記されているのではなく、食品容器を取り扱う卸売業者が発泡素材の容器を取り扱っていないため使用が不可能、またはスーパーマーケットなどの小売店が発泡素材の容器を自主的に取り扱いをしないとのことである。

(6)ラベル表示

野菜・果物（包装済み）のラベル表示は、「食品および薬品（成分組成および表示）規則（以下、表示規則と表記）」〔Cap.132W Food And Drugs（Composition And Labelling） Regulations〕により規制されている。以下項目を英語または中国語、あるいは英語と中国語の併用で表示することが求められている。

([Cap. 132W Food and Drugs \(Composition and Labelling\) Regulations \(elegislation.gov.hk\)](https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132w))（[ジェトロ仮訳](#)）

- ① 食品名
- ② 原材料リスト（原材料、アレルギー性物質、添加物を含む）
- ③ 賞味期限または消費期限
- ④ 保管に対する特別な条件、または使用上の注意に関する説明
- ⑤ 製造業者または包装業者の名前と住所
- ⑥ 数量、重量または容量
- ⑦ 栄養成分

ばら売り品目として販売される目的である、個別に包装され保存加工をした果実はラベルの添付規制が免除される。表示またはラベル貼付の規定の免除は、表示規則の付表4「付表3の規定を免除される項目 (Items exempt from Schedule 3)」を参照のこと。

バイオテクノロジー原料を含む食品 (GM 食品等) の表示は現在任意で行われている。

なお、ビジネス上支障が生じるなどの事情がある場合には、ラベル表示に製造業者もしくは包装業者の代わりに、現地の卸業者 (ディストリビューター) の情報記載をすることも可能である。詳しい手続きについては、関連リンク「加工食品表示ラベルに卸業者の記載が可能に」などを参照。

(加工食品表示ラベルに卸業者の記載が可能に(香港) | ビジネス短信 - ジェトロの海外ニュース - ジェトロ (jetro.go.jp))

(7)有機食品の表示

有機食品に「有機」や「オーガニック」などを表示して輸入販売する際には、生産、取り扱い、加工、マーケティングの各過程で特定の有機規格に従い生産され、その原産国の認証機関または当局によって認められた場合にのみ、「有機」や「オーガニック」と表示することができる。

有機規格には次のような定義が含まれる。

- ・栽培の過程で、化学農薬や化学肥料の使用が控えられていること。農作業においては輪作、動植物の肥料、手による除草、および生物学的害虫駆除が重視されていること。
- ・動物飼育の過程で、抗生物質、成長ホルモン、およびその他の動物飼料添加物の使用が控えられていること。
- ・遺伝子組み換えや電離放射線が施されていないこと。

なお、日本の「有機 JAS マーク」は香港政府が例示する有機認証マークの一例として掲げられており、日本国内で当該認証を受けた有機食品について「有機」や「オーガニック」と表示して輸入販売することができる。

◆10. 参照◆

A. 野菜・果物関係のレポート等

- イタリアントマトが品目団体・都道府県と連携したジャパンフェアを香港で実施

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/07/8f2b19145441ec71.html>

- 香港現地系スーパーで JA グループが日本産農産物の販売開始

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/7c915e6bcb75908.html>

- 日本産果物の料理体験教室を開催、香港の若者に PR

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/07/bcdcf1a942b66792.html>

- 香港におけるギフト食品市場-月餅・お菓子・花き・青果物-

https://www.jetro.go.jp/ext_images/agriportal/platform/pdf/pf_hkg_2211.pdf

○ 香港における柑橘類市場

https://www.jetro.go.jp/ext_images/agriportal/platform/hk/2025/pf_hkg_202501.pdf

B. 日本産野菜・果物を扱う主なプレイヤー

<小売店>

AEON Style

所在地：Units 07-11, 26/F, CDW Building, 388 Castle Peak Road, Tsuen Wan, New Territories, Hong Kong

Tel：852-2565-3600

URL：<http://www.aeonstores.com.hk/>

APITA (Unicorn Stores)

所在地：Cityplaza 2, 18 Taikoo Shing Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852- 2885-0331

URL：https://apitauny.com.hk/?lang=ja__

City' Super

所在地：香港九龍觀塘巧明街 110 號興運工業大廈 2 字樓

Tel：852-3960-9300

URL：<https://online.citysuper.com.hk>

Facebook：<fb@ceccoils.com>

Don Don Donki (PPIH)

所在地：21/F, Mira Place Tower A, 132 Nathan Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

Tel：852-3904-1481

URL：<https://www.dondondonki.com/hk/>

SOGO HONG KONG

所在地：555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852-2833-8338

URL：<http://www.sogo.com.hk/>

PARKn SHOP

Tel: 852-2690-0948

E-mail：parknshop.info@asw.com.hk

URL：<https://www.pns.hk/zh-hk/>

Wellcome

所在地：11/F Devon House, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852-2299-1888

URL：<https://www.dairyfarmgroup.com/en-US/Home>

YATA

所在地：Unit No. 901-910, 9/F., Tower 1 Grand Central Plaza, No.138 Shatin Rural committee Road, Shatin, NT, Hong Kong

Tel：852-2634-2070

URL：<http://www.yata.hk>

<食品輸入商社>

Go Go Foods Co. Ltd.

所在地：Unit 1214, 12/F, Chai Wan Industrial City, No. 60 Wing Tai Road, Chai Wan, Hong Kong

Tel：852- 2515-3300

URL：<http://www.gogofoods.com.hk>

Goldmali Ltd.

所在地：B2 Hong Kong SOGO, 555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852- 2518-7799

URL：https://www.facebook.com/aokifreshfruit?locale=ja_JP

美亞鮮果有限公司

所在地：香港觀塘海濱道 151-153 號廣生行中心 3 樓 311-312 室

Tel：852- 3590 8778

URL：<http://meiahfruit.hk/index.php>

MRT Food (Hong Kong) Co., Ltd.

所在地：Flat 10,14/F Honour Industrial Centre, 6 Sun Yip Street, Chai Wan, Hong Kong

URL：<http://www.mrt-japan.jp/company.html>

Sun fresh HK Ltd.

所在地：Level 43 AIA Tower 183 Electric Road, North Point, Hong Kong

Tel：852-3975-1030

URL：<https://sunfresh-group.com>

新利欄 (サンリーラン)

所在地：香港西環西區副食品市場 B44 舖

Tel：852-2549-3753

URL：<https://www.sunleefood.com.hk>

Topweal Co., Ltd.

所在地：Unit 05, 13/F, Block A, Po Yip Building, 62-70 Texaco Road, Tsuen Wan, Hong Kong

Tel：852-2646-2886

URL：<http://www.topweal.com>

力生控股集團

所在地：香港新界荃灣沙咀道 26-38 號 匯力工業中心 11 樓 02,06,07,10 室及 17 樓 16 室

Tel：852-2690-9800

URL：<http://nicsang.com>

宏峰食品有限公司

所在地：香港 柴灣新業街 6 號安力工業中心 11 樓 1104 室

Tel：852-3525-1155

URL：<http://www.wifulfood.com/chi/default.asp>

<https://www.facebook.com/wifulfood/>

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

執筆：農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

本レポートに関する問い合わせ先：

農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

TEL：852-2526-4067